

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月24日

上場取引所 大

上場会社名 FCM株式会社

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市居 律雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 川森 晋治

TEL 06-6975-1324

四半期報告書提出予定日 平成24年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,982	17.5	149	△53.6	171	△53.9	92	△61.8
23年3月期第3四半期	11,900	18.5	321	△18.7	371	△17.2	242	△19.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	54.33	—
23年3月期第3四半期	142.05	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
24年3月期第3四半期	9,811	—	3,526	—	35.9	2,069.56	—	
23年3月期	9,409	—	3,543	—	37.7	2,079.16	—	

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,526百万円 23年3月期 3,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	53.00	63.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	16.0	190	△63.4	217	△62.1	141	△60.3	82.74

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	1,704,267 株	23年3月期	1,704,267 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	269 株	23年3月期	178 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	1,704,058 株	23年3月期3Q	1,704,109 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(7) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績は、売上高13,982百万円（前年同期比17.5%増）、加工売上高2,391百万円（同5.8%減）、営業利益149百万円（同53.6%減）、経常利益171百万円（同53.9%減）、当期純利益92百万円（同61.8%減）となりました。セグメント別の業績概要は、以下の通りです、

#### （電子機能材事業）

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高3,826百万円（同3.5%増）、加工売上高1,701百万円（同9.8%減）となりました。一部限定的にスマートフォン・タブレット端末向けでの好調や車載部品向けで復調の兆しはありましたが、その他の品種がふるわず加工売上高が伸び悩んでおります。新規の量産品種も、生産調整などを受けて計画の数量に達しませんでした。新工法への設備投資や研究開発の負担もあり、セグメント利益は82百万円（同75.9%減）となりました。

#### （電気機能線材事業）

電線・配線用ケーブル・通信用ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、銅価が前年同期より比較的高値で推移したため、売上高は10,155百万円（同23.8%増）となりました。しかしながら市況は未だ本格的な回復には至っておらず、出荷水準は前年同期を僅かに上回るにとどまり、加工売上高689百万円（同6.1%増）となりました。セグメント利益は原価低減・経費削減の効果もあり88百万円（同218.9%増）となりました。

単位（百万円）

	平成23年3月期 第3四半期				平成24年3月期 第3四半期				増減率	
	売上高	構成比	加工売上高	構成比	売上高	構成比	加工売上高	構成比	売上高	加工売上高
電子機能材事業	3,696	31.1%	1,887	74.4%	3,826	27.4%	1,701	71.1%	3.5%	△9.8%
電気機能線材事業	8,204	68.9%	650	25.6%	10,155	72.6%	689	28.9%	23.8%	6.1%
合計	11,900	100.0%	2,537	100.0%	13,982	100.0%	2,391	100.0%	17.5%	△5.8%

（注）当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### （貸借対照表の状況）

資産合計は9,811百万円となり、前事業年度末に比べ401百万円増加しました。これは、主に建物付土地の取得による有形固定資産の増加482百万円、現金及び預金の増加310百万円、受取手形及び売掛金の減少506百万円によるものです。

負債合計は6,284百万円となり、前事業年度末に比べ418百万円増加しました。これは、主に買掛金の増加284百万円と短期借入金の増加200百万円によるものです。

純資産合計は3,526百万円となり、前事業年度末に比べ16百万円減少しました。これは剰余金の配当と第3四半期累計期間の利益を反映したものです。

#### （キャッシュフローの状況）

営業活動によるキャッシュフローは954百万円の収入となりました。主な増加要因は税引前四半期純利益167百万円、減価償却費330百万円、売上債権の減少506百万円、仕入債務の増加284百万円であり、主な減少要因はたな卸資産の増加117百万円と法人税等の支払額148百万円であります。なお、仕入債務の増加284百万円には、買掛金771百万円の支払決済について当第3四半期末が金融機関の休日であったため1月にずれたことによる増加を含んでおります。

投資活動によるキャッシュフローは、有形固定資産の取得などにより815百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュフローは短期借入金の純増加額200百万円、長期借入れによる収入300百万円、長期借入金の返済による支出204百万円、配当金の支払額107百万円などにより171百万円の収入となりました。

以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ310百万円増加し628百万円となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

欧州の債務問題や新興国の成長鈍化など、わが国の製造業にとっては引き続いて厳しい環境になることが予想されます。このような中、当社においては各種施策の取り組みを通じて業績回復に努めてまいります。平成23年10月25日に公表した業績予想について変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	317,224	628,214
受取手形及び売掛金	4,680,530	4,174,322
仕掛品	172,663	214,044
原材料及び貯蔵品	255,329	324,944
繰延税金資産	27,256	16,862
その他	17,867	47,686
貸倒引当金	△9,286	△8,094
流動資産合計	5,461,584	5,397,979
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	824,990	776,828
機械及び装置（純額）	909,747	794,102
土地	1,791,233	2,067,915
建設仮勘定	29,224	419,207
その他（純額）	150,332	130,227
有形固定資産合計	3,705,528	4,188,282
無形固定資産	38,171	36,605
投資その他の資産		
投資有価証券	21,499	18,371
繰延税金資産	164,569	152,551
その他	38,966	37,813
貸倒引当金	△21,105	△20,462
投資その他の資産合計	203,930	188,273
固定資産合計	3,947,629	4,413,161
資産合計	9,409,214	9,811,141

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,728,901	3,013,002
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	199,960	329,936
未払法人税等	143,198	43,600
その他	324,231	250,569
流動負債合計	3,396,291	3,837,108
固定負債		
長期借入金	2,070,910	2,036,812
長期未払金	16,232	12,174
退職給付引当金	258,182	284,896
役員退職慰労引当金	97,430	98,713
その他	27,098	14,904
固定負債合計	2,469,853	2,447,500
負債合計	5,866,145	6,284,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	2,030,633	2,015,851
自己株式	△521	△703
株主資本合計	3,544,732	3,529,768
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,663	△3,235
評価・換算差額等合計	△1,663	△3,235
純資産合計	3,543,068	3,526,532
負債純資産合計	9,409,214	9,811,141

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	11,900,716	13,982,836
売上原価	10,576,959	12,853,078
売上総利益	1,323,756	1,129,757
販売費及び一般管理費	1,002,205	980,640
営業利益	321,551	149,117
営業外収益		
受取利息	20	12
受取配当金	806	519
助成金収入	63,041	28,074
スクラップ売却益	1,666	648
その他	1,744	9,222
営業外収益合計	67,279	38,477
営業外費用		
支払利息	16,713	14,469
その他	1,057	2,038
営業外費用合計	17,771	16,508
経常利益	371,058	171,086
特別利益		
固定資産売却益	730	172
受取保険金	—	6,500
償却債権取立益	1,403	—
特別利益合計	2,134	6,672
特別損失		
固定資産売却損	—	679
固定資産除却損	4,105	6,015
投資有価証券評価損	4,411	3,197
特別損失合計	8,516	9,892
税引前四半期純利益	364,676	167,867
法人税、住民税及び事業税	119,304	52,208
法人税等調整額	3,309	23,083
法人税等合計	122,613	75,292
四半期純利益	242,062	92,575

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	364,676	167,867
減価償却費	381,899	330,497
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,332	1,282
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22,621	26,714
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	28,733	△1,834
受取利息及び受取配当金	△827	△531
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,411	3,197
支払利息	16,713	14,469
有形固定資産売却損益 (△は益)	△730	506
固定資産除却損	4,105	6,015
売上債権の増減額 (△は増加)	△330,743	506,207
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△47,527	△117,867
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,111,581	284,100
その他	△67,262	△115,872
小計	1,495,983	1,104,751
利息及び配当金の受取額	827	531
利息の支払額	△15,550	△13,725
法人税等の支払額	△290,928	△148,662
その他	—	11,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,190,331	954,365
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△932	△911
有形固定資産の取得による支出	△227,966	△811,612
有形固定資産の売却による収入	787	260
無形固定資産の取得による支出	—	△2,300
その他	628	△669
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227,482	△815,232
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	200,000
長期借入れによる収入	110,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△165,640	△204,122
長期未払金の返済による支出	△4,058	△4,058
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,194	△12,194
自己株式の取得による支出	△151	△182
配当金の支払額	△122,865	△107,586
財務活動によるキャッシュ・フロー	△244,909	171,856
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	717,938	310,989
現金及び現金同等物の期首残高	242,665	317,224
現金及び現金同等物の四半期末残高	960,604	628,214

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,696,444	8,204,272	11,900,716
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,696,444	8,204,272	11,900,716
セグメント利益	343,392	27,666	371,058

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,826,967	10,155,869	13,982,836
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,826,967	10,155,869	13,982,836
セグメント利益	82,855	88,231	171,086

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。